

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書 ①

開催日時 令和 7 年 4 月 15 日(火) 14:00 ~15:00

参加者

家族：2名

地域包括支援センター： 1名

事業所： 5名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

1 ①地域密着型特別養護老人ホームなつぼ

- 施設内での感染症発生流行についての報告。

12月、コロナ感染症の流行。1月、ノロウイルスの発生があった。

→感染症への対応の難しさ、職員や家族様での個人生活での感染防御、
施設への持ち込みを防ぐすべ、感染拡大防止への取り組み、保健所への報告、
過去の感染症は流行時期があったように思うが現在は時期を選ばない傾向、
面会制限等の生活の質への懸念、基本的感染対策の重要性、食事の提供方法
ワクチン接種の費用対効果 等と意見交換。

- 新年度事業計画方針について

決算事業報告前の計画となるが、

人材の確保、災害事故対策、丁寧な介護の提供を柱に取り組んでいきたい。

人材難は数十年前からわかつてはいたが、現在は福祉学校も閉鎖が相次いでいる。

外国人の方の採用計画もあったが、諸事情により今年度は延期になっている。

国の方策としての機械化の推進。介護報酬と人件費、施設運営等の状況。

BCPについては計画策定済みだが、内容の具体化の動きが必要。

丁寧な介護にあっては、職員のアセスメント能力の向上やチームワーク
利用者の立場に立った介護提供を進めていきたい。

以上説明を中心に意見交換。

家族：感染症対応では大変だったと思います。

以前は結核などでも感染症のこわさを感じる時期があった。

包括支援センター：BCPは作成している。地域防災として取り組んでいくことも多い。

保健と福祉の一体化が図れればとの視点もある。

地域住民の福祉の向上に努めたい。

この会議も、一つの共同のツールとして参加していきたい。

次回は、6月17日（火）14：00～